

みずほCustomer Desk Report 2019/03/11 号 (As of 2019/03/08)

国際為替部 為替営業第二チーム

[昨日の市況概要]

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	111.65	1.1198	125.00	1.3089	0.7022
SYD-NY High	111.65	1.1246	125.00	1.3106	0.7052
SYD-NY Low	110.75	1.1185	124.28	1.2990	0.7003
NY 5:00 PM	111.19	1.1230	124.87	1.3017	0.7046
NY DOW	25,450.24	▲ 22.99	日本2年債	-0.1500	0.00bp
NASDAQ	7,408.14	▲ 13.32	日本10年債	-0.0400	▲ 3.00bp
S&P	2,743.07	▲ 5.86	米国2年債	2.4651	▲ 0.93bp
日経平均	21,025.56	▲ 430.45	米国5年債	2.4312	▲ 1.00bp
TOPIX	1,572.44	▲ 350.00	米国10年債	2.6294	▲ 1.08bp
シカゴ日経先物	20,935.00	▲ 29.22	独10年債	0.0675	0.35bp
ロンドンFT	7,104.31	▲ 53.24	英10年債	1.1880	1.80bp
DAX	11,457.84	▲ 59.96	豪10年債	2.0240	▲ 4.95bp
ハンセン指数	28,228.42	▲ 551.03	USDJPY 1M Vol	5.57	▲ 0.03%
上海総合	2,969.86	▲ 136.56	USDJPY 3M Vol	6.10	0.01%
NY金	1,299.30	13.20	USDJPY 6M Vol	6.70	0.01%
WTI	56.07	▲ 0.59	USDJPY 1M 25RR	-1.04	Yen Call Over
CRB指数	180.67	▲ 0.20	EURJPY 3M Vol	6.98	▲ 0.09%
ドルインデックス	97.31	▲ 0.36	EURJPY 6M Vol	7.58	▲ 0.04%

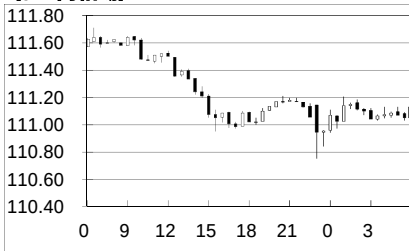
[昨日の指標等]

Date	Time	Event	結果	予想
3月8日	-	中	貿易収支	2月 \$4.12B \$26.20B
16:00	独	製造業受注(前月比/前年比)	1月 -2.6%/-3.9%	0.5%/-3.2%
22:30	米	住宅着工件数/建設許可件数	1月 1,230k/1,345k	1,195k/1,287k
22:30	米	非農業部門雇用者数変化	2月 20k	180k
22:30	米	失業率	2月 3.80%	3.90%
22:30	米	平均時給(前月比/前年比)	2月 0.4%/3.4%	0.3%/3.3%
-	米	パウエルFRB議長「デフレ会議へ新政策検討、日銀型も参考に」		

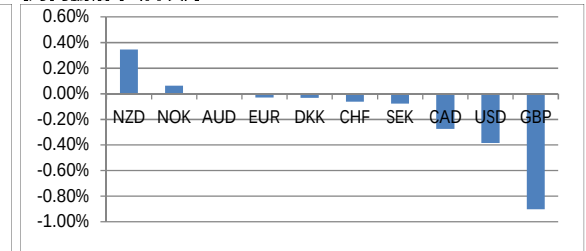
[本日の予定]

Date	Time	Event	予想	前回
3月11日	16:00	独	鉱工業生産(前月比/前年比)	1月 0.5%/-3.3%
	21:30	米	小売売上高・速報(前月比)	1月 0.00%

[ドル円相場]



[対円騰落率(日次)]



[予想レンジ]

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.60-111.50	1.1200-1.1280	124.40-125.20

[マーケットインプレッション]

先週金曜日の海外時間のドル円は、軟調な値動き。米国時間に発表が予定されていた2月の非農業部門雇用者数(NFP)は予想を下回る2万人増となり、発表直後のドル円相場は一時110円79銭まで下落。しかし予想の下振れは一時的なもので一部の産業では雇用が拡大しており、結局は111.00~111.20の小幅なレンジでの推移となった。NFPを通過し、先週まで下落している株値が今週反発に転じれば、再度ドル円も112円台に向けて上昇すると考えられる。グローバルな株値の動向に注目したい。

東京	東京時間のドル円は111.65レベルでオープン。前日海外時間にECBが経済見通しを大幅に引き下げたことを背景にリスクセンチメントが悪化しているなか、公表された中国2月貿易収支が市場予想比大幅に悪化。中国株の大幅安に連れて日経平均株値も下げ幅を拡大する中、ドル円は約1週間ぶりに111円割れを示現し、一時110.95まで下落。しかし、この水準では買い意欲も強く、その後は111円付近でもみ合い推移となり111.05レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は111.05レベルでオープン。アジア時間の中国貿易収支悪化、株安によるリスクオフモードは一服。米2月雇用統計を控え、110.97-111.21の狭い値幅で推移。111.14レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.3084でオープン。週明け12日に離脱合意案の下院再採決を控え、不透明感は燦る。終日上値が重く、一時1.3052まで下落。1.3070レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	ドル円は111.14レベルでNYオープン。注目の米2月雇用統計は、非農業部門雇用者数変化が2万人増と予想18万人増を大きく下回り、ドル円は110.75まで下落する。しかし家計調査である失業率が、政府閉鎖で一時的解雇となっていた人が再雇用されたこと等から、前回の4.0%から今回3.8%まで低下し、平均時給も予想以上に上昇したことや、広義失業率も大幅に低下し、同時に発表された1月住宅着工件数も予想を上回ったことから、111.20まで戻す。しかし、朝方米紙が駐中国米大使の話として、米中首脳会談予定はまだ決まっておらず、これは両国とも合意が差し迫っていると考えていないからと報じたこともあり、株式市場が軟調に推移する展開に、ドル円は上値の重い展開が続き、111.19レベルでクロスした。一方、昨日のECB理事会結果を受け大幅に下落していたユーロドルは、米雇用統計結果発表や週末を控え、利益確定の買戻しが強まったことから値を戻し、1.1222でNYオープン。朝方は米雇用統計結果を受けたドル売りで1.1242まで上昇する。その後も週末を控えた買戻しにじり高で推移し、1.1246まで戻す。午後は、1.1240付近での閑散な推移が続き、1.1230レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 百瀬・森谷